

平成26年度 小千谷市図画工作部 活動報告

部長 鳥越 弘之

1 研究主題・研究の概要

小千谷市の図画工作部は小学校単独の組織がなく、研究主題も設定していない。

小千谷市教育研究会芸術教育推進委員会図工美術部として、中学校と共同で、児童生徒が心豊かに成長することを願って以下の事業・研修会を実施している。

2 研究の実際

(1) 夏季実技研修会

- ①実施日 平成26年8月20日(水)
- ②会場 サンラック小千谷
- ③講師 新潟大学教育学部附属長岡小学校 堀 和宏 様
- ④対象 小千谷市内小中学校教員
- ⑤内容 絵画描画法の研修会

研修参加者各自が、水彩絵の具の道具一式、クレヨン、はさみを持参し、講師の指導の下、授業で使える絵画と紙版画の技法について研修した。

(2) 小千谷市教育美術展

- ①実施日 平成27年2月6日(金)～9日(月)
- ②会場 小千谷市総合産業会館「サンプルザ」
- ③展示 平面作品、立体作品、大型平面作品 (例年約600点程度出品)
市内の幼稚園・保育園、高校からも作品を募集する。
- ④内容 各校・各学年の優秀な図工美術作品を展示し、作品を展示した園児・児童・生徒に、今後の励みとなるよう賞状を贈る。

(3) 美術館見学

- ①実施日 9月～11月
- ②会場 県立近代美術館
- ③方法 対象は小学校5年生。市教委からスクールバス運行の支援を受けて実施。
それぞれの学校で日程調整して見学。少人数校は他校と合同で実施。

3 成果と課題

(1) 成果

- ①実技研修会では、指導につながる技術を学ぶことができ、図工が得意ではない教員にとっては、貴重な研修の場となっている。さらに、教員同士の情報交換の場ともなり、日頃の実践上の悩みや指導の工夫を交換する場ともなっている。
- ②教育美術展では、幼稚園から高校までの作品を比較して見ることができ、子どもの感覚や技能の成長の様子をつかむことができる場となっている。
- ③今年度は、ジュニア展が小千谷市で開催され、部員が展示に関わった。教員にとっても児童生徒にとっても、県内の優秀作品を鑑賞する好機となった。

(2) 課題

- ①各校において、実技研修で学んだことを伝達し、広げていく研修体制を築きたい。
- ②事業と日頃の授業や生活をつなぎ、児童生徒の心の成長に供していきたい。